

おけのこ

白杵城跡 (臼杵市)

六月十三日に開会した第二回定例県議会は、六月二十八日に補正予算案など上程議案に対する採決が行われ、十六日間にわたる全会議日程を終えました。なお、空席となっていた副知事に国土交通省出身で元大分市副市長を務めた桑田龍太郎氏が選任されました。

経済動向について

円安や原油価格高騰を背景に、物価上昇は当面続く懸念されます。こうしたことから全国的に高水準の賃上げが得られた春季の交渉の流れを県内へ波及させなければなりません。県内の中小企業等が思い切った賃上げに踏み切れるよう、物価高騰対策等の支援充実を国に求めるほか、県においても独自の賃上げ支援事業を積極的に進める必要があります。

第2回定例県議会 物価高騰、人口減少へ更なる対策を



災害への備えについて

年初に能登半島地震、四月には豊後水道を震源とする震度六弱の地震が発生するなど、今年各地で地震が頻発しています。もしもの時に備え、円滑な避難や救助、物資輸送の機能を確保できるように、優先開ルート上の橋梁耐震化や道路法面対策に取り組み、災害に強い道路ネットワークの構築を急がなければなりません。

環境先進県おいたの実現について

県では、カーボンニュートラルに向け官民一体でグリーン・コンビナートおいた推進構想に係るプロジェクトを進めています。

企業間連携によるカーボンリサイクルの実現可能性調査やコンビナートが排出するCO₂の分離・回収に関する共同検討などが展開されます。

「選ばれるおいた」への挑戦について

人口減少が進むなか、産業政策や移住対策も力強く推進する必要があります。企業誘致に関しては、熊本へのTSMC進出に伴う新たな投資を呼び込むこと。また、農林水産業の担い手確保においては、子育て中の研修生への給付金上乗せなど県独自の支援策の充実も考えられます。コロナ禍を経てテレワークの活用が広まっていく中、「転職なき移住」の推進にも力を注ぎ、あらゆる分野で選ばれる県となるよう、新しい大分の創造へ挑戦しなければなりません。

補正予算・事業概要

今議会では、介護サービス等を迅速かつ的確に提供するため、全国に先駆けて実施する要介護認定業務のデジタル化など、早急に対応が必要な経費に関する補正予算を審議しました。

<補正後の一般会計予算>

補正額の合計	171,814千円
既決予算額	689,808,000千円
累計予算総額	689,979,814千円

<事業概要>

1. 要介護認定業務等デジタル化推進事業

高齢化の進行に伴う要介護認定業務の増加に迅速かつ的確に対応するため、市や関係機関等と連携し介護分野のDXに取り組む。

- ▶要介護認定業務のデジタル化に要する経費に対する助成
 - タブレットを活用した認定調査の電子化等 (大分市・別府市) 補助率 1/2 (国費は各市に直接交付)
 - 主治医意見書の電送化に向けた電子カルテシステムの改修 (医療機関) 補助率 10/10 (国3/4 県1/8 市1/8)
- ▶予防プラン策定業務システムのAI化に取り組む事業者に対する助成 補助率 10/10 (国3/4 県1/4) など

大麻も麻薬と同じ危険薬物 法改正で大麻使用も厳しく犯罪検挙

大麻使用罪の新設を柱とする大麻取締法・麻薬及び向精神薬取締法の一部改正が施行されます。改正内容の主なものとして大麻を麻薬と位置づけ、不正な使用や所持等には7年以下の懲役刑が科されるようになります。

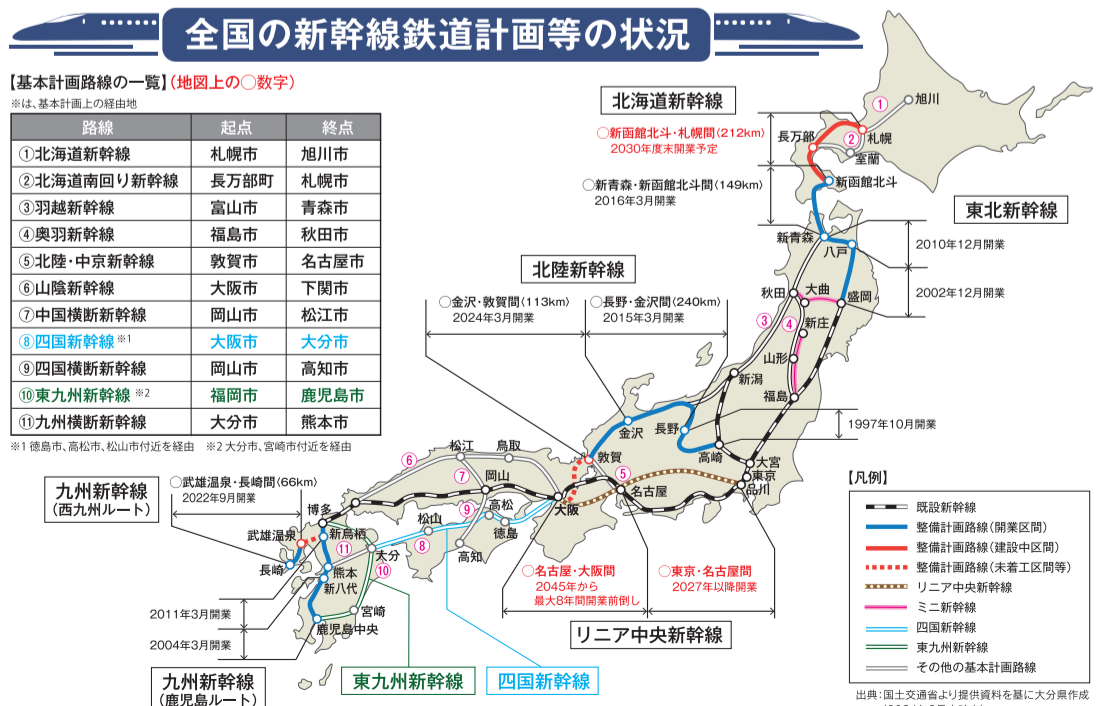
これまでの大麻の所持に関する証拠が十分でない場合、大麻の使用を取り締まることはできませんでしたが、今回の改正で使用罪が適用されれば、検挙人数はさらに増える可能性があります。

近年、大麻での検挙数が急増し、特にネットを経由した事例などで若者の検挙が目立ちます。薬物乱用は人間の生命はもとより、社会や国の安定を脅かす深刻な社会問題です。「ダメ、ゼッタイ」を合言葉に薬物乱用防止対策を強化しなければなりません。

東九州新幹線、豊予海峡ルートなど 広域交通ネットワーク特別委員会を設置

佐藤知事は、東九州新幹線と豊予海峡ルートの実現に向けた意思を表明し、国への要望活動を行うとともに、地元機運を醸成するシンポジウムの開催など、東九州新幹線等広域交通推進事業費を今年度予算に計上しています。

県議会としては、これら大規模プロジェクトや広域道路ネットワークの整備に伴う広域での経済交流や観光・産業振興などについて調査研究する特別委員会を設置しました。私は当委員会の副委員長として参画します。事業の実現可能性や財政負担など課題を整理しつつ議論を深めていきたいと思ひます。



文教警察委員会県内所管事務調査

県議会では、毎年の第2回定例会の前段に各常任委員会所管の事務・事業の調査を行います。私の所属する文教警察委員会は、12の市と町を訪問し、現地の視察、質疑・意見交換を行いました。

令和6年度 文教警察委員会 調査行程

- 5/7 別府市 別府翔青高校 → 国東市 国東高校 → 日出町 杵築日出警察署
- 5/16 竹田市 南部小学校 → 竹田支援学校 → 豊後大野市 三重総合高校 → 豊後大野警察署
- 5/17 白杵市 野津中学校 → 佐伯市 佐伯警察署 → 佐伯教育事務所 → 白杵市 白杵津久見警察署
- 5/21 大分市 中央支援学校 → さくらの杜高等支援学校 → 警察学校・県警機動隊 → 爽風館高校
- 5/29 日出町 豊岡小学校 → 宇佐市 宇佐警察署 → 宇佐支援学校 → 中津市 中津教育事務所
- 5/30 日田市 日田警察署 → 日田教育事務所 → 玖珠町 学びの多様化学校

旧別府青山高校、旧羽室



平成二十四年に旧杵築署と旧日出署を統合して誕生した警察署です。

杵築日出警察署 (日出町藤原)

旧別府翔青高等学校 (別府市野口原)



高校、旧別府商業高校の発展的統合により平成二十七年に開校しました。グローバルコミュニケーション科、普通科、商業科の三学科が設置され、現在の全校生徒数は七一四人。



機動隊では、災害・テロ等緊急事態対策や大規模警備諸対策に向け日々訓練が重ねられています。

職責の自覚と使命感等の基本方針のもと、警察職員を育成する警察学校。朝六時半の起床から、清掃・訓練、授業、自習そして夜十時半の点呼までの大変厳しい日課です。

警察学校・県警機動隊 (大分市福宗)

昨年度から、ICTを活用して国東高校とオンラインでの遠隔教育が実施されています。

普通科、生物環境科、メディア科学の三学科が設置され、現在三六九人の生徒が在籍。



旧三重高校、旧三重農業高校、旧緒方工業高校、旧竹田商業高校の発展的統合により平成十八年に開校しました。

県立三重総合高等学校 (豊後大野市三重町)

防災士 木田昇の

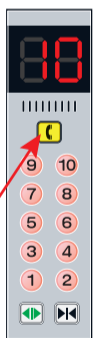
防災メモ

外出先で地震に遭遇したら④

デパート、スーパーやコンビニにいる時に地震が発生したら、商品の散乱やショーケースの破損などに注意して、階段の踊り場や柱の近くへ移動。また、買い物カゴなどをかぶり、身を守ります。



地下街では、停電でパニックになり、多くの方が非常口に殺到すると負傷の危険が。落ち着いて落下物から身を守り、柱や壁のそばで揺れが収まるのを待ちます。



エレベーターの中で揺れを感じたら、すべての階のボタンを押して止まった階でおります。閉じ込められた場合はインターホンで連絡を取ります。

山間地では斜面や崖から離れて土砂崩れに注意、海岸部では津波の危険を恐れなければなりません。隣近所に声をかけてすぐに高台へ避難しましょう。



最近の活動

4月

- 田中 優子さん(法政大学名誉教授・前総長)講演会「江戸時代から考える戦争とジェンダー」
- 半田 滋さん(防衛ジャーナリスト)講演会「敵基地攻撃ミサイル なぜ今、大分・湯布院に」

駐日ネパール大使館訪問調査 (東京都目黒区)

急増する県内在留のネパール人は約千人。県民クラブはネパールとの友好・交流を深めています。ドゥルガ・バハドゥール・スベディ特命全権大使と意見交換。



(独法)国際協力機構(JICA)訪問調査 (東京都千代田区)

駐日ネパール特命全権大使から伺った内容をもとに、本県がネパールとどのような協力ができるのか、JICAからの支援策等について調査。



- 大分政経懇話会「ライドシェア幸せの量産をもたらす魔法の杖か?その課題と提言」(牧村 和彦氏:計量計画研究所理事・筑波大客員教授・神戸大客員教授)
- 第95回メーデー大分県中央大会
- 大分政経懇話会「インバウンドと地方再生について～台湾からの誘客」(大塚 順彦氏:インターバウンドカンパニー代表)

5月

- 大分政経懇話会「米大統領選挙と内外経済展望」(吉崎 達彦氏:双日総合研究所チーフエコノミスト)

◇国道210号改修促進協議会役員会

- さがのせきビーチクリーンアップ作戦(こうざき海岸) こうざき地区では毎月恒例の海岸清掃活動ですが、この日は佐賀関の9か所の海岸で一斉清掃を展開。地区内外から参加した多くのボランティアにより見事にクリーンアップされました。



- けんしん大学「エコアクション21認証登録制度とJクレジット」(三浦 逸朗氏、桑野 恭子氏:ミウラクワノパートナーシップ)

◇おおいたホームタウン推進協議会総会

6月

◇豊肥・地域高規格道路建設促進期成会総会 (竹田市)

- 道の駅「たのうらら」内覧会 大分市の田ノ浦地区に道の駅が新たに建設。別府湾に面する立地でロケーションは最高です。1階は特産品の物販、2階は飲食店、音楽ホールが設置。(写真:1階に展示される別大電車)



◇第2回定例県議会開会

◇連合大分「拡大政策・制度委員会」

- 第49回部落解放・人権西日本夏期講座(別府市) あらゆる差別撤廃と人権確立に向けて今年は大分県で開催。西日本各地から会場溢れんばかりの人々が集まる。
- 第2回定例県議会閉会



竹の子記

厚労省によると、二〇二三年の出生率は一・二〇と統計をとり始めて以降、過去最低になったとのこと。本県は一・三九と全国平均は上回っていますが、こちらも同じく過去最低の数値です。九州・沖縄は出生率が高い地域ですが、一番高いところでも沖縄が一・六〇、大分は低い方から数えて福岡に次ぐ二番目。少子化の要因は、子育てにかかる身体的・経済的負担に対する不安と言われ、出会いから結婚、出産、子育てまで切れ目ない支援策を充実する必要がある。また、日本の育休制度は男女取得の権利、休業給付など国際的に比較しても遜色ない(米国は明確な産休育休制度がないが出生率は高い)のですが、男性の育休取得率・期間は北欧に比べると断然に劣ります。男女の家事分担をバランス良くすること、社会全体が子育てを支える風土づくりも必要です。出生率の高い北欧ではEU加盟国民であれば、大学まで学費は無料で行おうとすると約三兆円の予算を確保しなければなりません。政府は少子化対策のラストチャンスと言いつつも、増やした予算はプラス二・五兆円の防衛費。はて?

公式LINEはコチラ

木田昇の議会・政務活動を随時更新中。
ご意見・ご要望なども、お気軽にご連絡ください!
*QRコードからお友達登録をよろしくお願いします。

県民クラブHPIはコチラ
<https://kenmin-club.com/>